

令和元(2019)年度 第3回学校運営協議会 議事録

- 1 日 時 令和元(2019)年11月8日(金) 14:30～16:30
- 2 場 所 日光明峰高等学校 メディアⅠ教室
- 3 出席者 委員9名(4名欠席)
その他栃木県教育委員会事務局から2名、本校事務局職員7名、他校教員0名
- 4 司 会 本校教頭
- 5 次 第
 - (1)開会
 - (2)会長あいさつ
 - (3)校長あいさつ
 - (4)報告 (下記6の通り)
 - (5)協議 (下記7の通り)
 - (6)その他 (下記8の通り)
 - (7)閉会
- 6 報告
 - (1)一日体験学習
 - 8月22日(木)に実施した一日体験学習の内容・生徒や保護者との反応について報告
 - 成果
 - ・参加者数は生徒が54名、保護者が34名。生徒数が、一昨年、昨年よりも増加した。また、保護者も例年と比べてかなり増加した。
 - ・内容は、授業内容や学校の紹介(学校紹介については生徒会役員からの説明)、授業体験や生徒会主催のクイズなど、例年と比べてかなり変更した。
 - ・生徒、保護者とも概ね好意的に受け止めてもらえ、高評価を得ることができた。
 - ・学校運営協議会から提案していただいたかき氷の提供も、大変好評であった。
 - (2)オープンスクール
 - 10月19日(土)に実施したオープンスクールの内容・生徒や保護者の反応について報告
 - 成果
 - ・参加生徒数16名、保護者18名
 - ・案内チラシは、上都賀地区中学校の3年生に配布
 - ・中学校の教員も参加
 - ・在校生1年生、2年生がグループ交流会は学校説明を行った。
 - ・クリアファイルを作成し、参加者に記念品として配布した。
 - ・今年度初の試みであったが全体的に好評であった。
 - (3)中学校訪問(進路説明会)
 - 6～7月にかけて訪問した30校のうち、さらに11校に対して教務主任、1学年学年主任等が訪問し、生徒・保護者・教員を対象に本校の説明を行う、
 - 説明内容は、学習指導・進路指導と進学先・生徒の生活状況等について

○成果

- ・各中学校は、明峰高校が中学校に積極的に働きかけをしていることや、生徒も頑張って学校生活を送っていることを、卒業生からの情報等を通じてよく知っており、明峰高校に安心感を持っているなど、意的に受け止めてくれている。
- ・参加した中学校の教員からは、「思っていた明峰高とは、授業のレベルや生徒の姿勢などが違い、驚いた。中学校の他の教員にも授業見学をさせたい」という声が聞かれた。

(4) その他

○現在把握している部活動関係の入学希望者数について説明。アイスホッケーは県外が10名、県内が5名、スピードスケートは2名、バドミントンは1名という状況。

7 協議

○現在の日光明峰高校の取り組みについて

校長から、資料に基づいて本校の現在・今後の取組について説明

〔校長〕

教育課程の編成に当たり、授業がしっかりとしたものになっていなければならないため、まずは教員の意識改革を図っていききたい。3年間の学びを見通した質の高い授業にしていきたい。一人一人の生徒の実態をとらえた上で、本当に基本的な知識や技能が生徒に定着しているか、それらが本当に活用できる力を育てているかなどを、教員に意識させたい。そのために教員間で授業見学を行ったり、生徒の実態や身につけさせて力などについて、フランクに意見交換ができるような雰囲気作りも重要である。これらについて、年度の途中であるが、「授業改革推進チーム」を設置した。このメンバーが中心となって授業改善を進めていきたい。なお、教員間のディスカッションの中から、「育てる生徒像」を考えてもらいたいと思っている。

〔委員〕

教育課程の中に、観光についてスキルを高める科目等を入れることはできないか。

〔校長〕

商業の授業の中に、「ビジネス観光」の科目があり、そこで地元の観光産業や旅行者に入ってもらい企画を立てさせるなど、卒業後が見通せるような授業の展開を考えていきたい。観光だけでなく、キャリア教育の推進を図っていく。

8 その他

(1) 宇都宮大学との連携について

- ・会長からの説明
- ・宇都宮大学と日光明峰高校とが共同研究契約を締結し、コミュニティ・スクールの推進に関する調査研究を進めていくことになった。

(2) 次回の日時の確認

〔教頭〕

令和2年2月17日(月)の14:30からを予定したい。 →了承